

ドライオーセピア 第3回演奏会

日時：二〇〇七年八月四日（土）
午後二時開演・二時半開演
場所：高円寺 Studiok

ドライオーセピア
代表 小宮さゆり
連絡先 〇九〇 二九〇三 六六六一
kirsch-rosa-llie@ezweb.ne.jp



ご挨拶

本日は、ドライオーセピア (Drei-O Sapia) アンサンブル演奏会にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。

母体となるオーケストラ、ドライオーフィルハーモニカ (Drei-O Philharmoniker) は、1998年に発足いたしました。セピアアンサンブル企画は、2005年3月のドライオーフィルハーモニカ演奏会への練習過程で団員内の有志が集まり、始めました。団員の演奏能力、アンサンブル能力の向上を目指し、また、オーケストラの演奏会では実現しにくいステージングを行うことで、お客様に音楽を身近に感じてもらい、楽しんでもらうということを目標に考えています。

3回目となる今回の演奏会では、アコーディオンとのコラボレーション、衣装プロデュースに婆娑羅組をお迎えするなどの試みを行っております。演奏は2部構成で、1部は恒例のクラシックアンサンブル作品、2部は童謡特集を演奏いたします。練習不足が見られる箇所もあるかと思いますが最後までお楽しみください。

今後も、オーケストラの練習の合間を縫ってコンサートや訪問演奏など活動の場を広げていき、小さなお子様からお年寄りまで楽しめるような企画を行っていく予定です。アマチュアならではの精力的な活動を通じ、一人でも多くの方に母体であるドライオーフィルハーモニカに興味を持っていただけたら幸いです。

ドライオーセピア一同

II 1部 II

♪ファルカシュ「17世紀のハンガリー古典舞曲集」

この舞曲は、18世紀にハンガリーで流行した民族舞曲を主題にし、木管五重奏のために翻案した1953年の作品で、次の5つの小品からなります。

- 小序曲
- ゆるやかな舞曲
- ラボカツシュ舞曲
- 舞踏歌
- 跳躍の舞踏

ファルカシュは1905年に生まれ、2000年に亡くなったハンガリーの作曲家です。マイナーな作曲家だと思いますが、実に700もの曲を作ったようです。彼は、民族音楽を自作に融合させているバルトークやコダーイに似て、自国の古舞曲を卓抜の作曲法で表現したのです。ハンガリーの民族音楽はドイツ的というよりもむしろ東洋的と言われます。確かに、演奏しやすい……伝わるでしょうか？

♪サンIIサーンス 組曲「動物の謝肉祭」より

- 序奏と獅子王の行進曲
- かめ
- そう
- 化石
- 白鳥
- 終曲

フランスの作曲家、カミーユ・サンIIサーンスによる組曲です。多くの楽曲をパロディにして、時折それらを皮肉っているため、生前にこの曲が一般に発表されることはなかったそうです。全部で14曲からなり、2台のピアノと小規模のオーケストラで演奏される曲ですが、今日はその中から6曲を木管アンサンブルにアコーディオンとピアノを交えた、特別編成でお送りします。ライオンにカメ、そうに白鳥……情景を想像しながらお楽しみ下さい。

II 2部 II

♪童謡特集

大人から小さなお子様まで、学校で習ったあの曲、どこかで聞いた事のあるあの曲を、木管アンサンブルとアコーディオンでお送りいたします。あなたの目にも懐かしい夏の日が目に浮かんできませんか？

曲紹介

メンバー紹介ぬりえ

さゆりさん
僕はこんなかんじで
吹きたいです

ハイハイ
じゃーそれで

フルート

小宮さゆり (さゆりん)

オーボエ

岡田直人 (おかぴー)



そうっすよね
先輩の楽器マジいいっす

クラリネット

守口和孝 (もりりん)
酒井一滋 (サカイ)

そんなのはまあ
どうでもいいんだけどさ



うちの子(四ヶ月・女子)
最高かわいい。超かわいい。

ホルン

長谷川肇之(はせびよん)

アコの音色いいでしよ
でも運ぶ時重いんです
あはは

アコーディオン

植木絵美(うえきみ)

ファゴットの魅力を伝えるには
2分や3分じゃムリだね

ホルン

福井優子(ゆうこりん)

まあそんなこんなで。

ファゴット

山岸潤子(お潤さん)



娑婆羅組（ばさらくみ）

今回の演奏会では、衣装製作・着付け・スタイリングに
大塚学院 きもの研究会 娑婆羅組のみなさんが
ご協力くださいました。

今回皆様の前でご披露する浴衣は彼らによる作品です。
私たちそれぞれのキャラクターに合わせて
衣装を作ってくださいました。

どうです？素敵でしょうか？
セピア一同、自慢したくしてしようがありません。

彼らもまた、これからどんどん
新しいことにチャレンジする人たちです。

この場を借りてお礼を申し上げますと共に
更なるご発展をお祈りします。

私たちは、大塚学院 きもの研究会 娑婆羅組（ばさらくみ）と申します。
新宿は信濃町にあります。きもの専門学校大塚学院内におきまして、
きものやテキスタイルを勉強する有志が集い、昨年12月に結成しました。

「きもの」とは、もともと「着るもの」という意味。

つまり、身にまとうもの一般を指す言葉です。

けれども、大陸を中心とする世界の文化を取り入れながら、あくまでこの日本と
いう風土に根付き、生活の中で息づいてきた「きもの」。その染め、織り、
形、意匠などの伝統の技や味わい、良さをしっかりと勉強し、研究しながら、
現代の生活の中の「きもの」の在り方を探索しています。

そして何より「きもの」を楽しんでいます。

この度は、ドライオー・セピアの皆さんとの縁で、私たちが衣裳を製作させ
て頂きました。今回のテーマは「和」ということで、浴衣で演奏なさいませ。
きもので楽器を演奏すると、どういふことになるのでしょうか？？

その風情や情緒は、たいへん興味があります。

これまた私たちにとりましても、新たなチャレンジ。

是非とも皆さん、最後までお楽しみ下さいませ!!

大塚学院 きもの研究会 娑婆羅組 主宰 星 敬介

娑婆羅組（ばさらくみ）Webサイト
<http://www4.ocn.ne.jp/~ba-sa-ra/>

ドライオーファイルハーモニー 第14回演奏会

2008年3月20日（木）

北とぴあ

チャイコフスキー

交響曲第4番 他

指揮 上垣聡

コンサートマスター 西田史朗

問合せ先

長谷川 060-8005-4330

tkenta@hornists.office.ne.jp

Drei-0 Philharmoniker

<http://home.att.ne.jp/sky/tkenta/Drei-0/>

インフォメーション